

岩手山の山体変動観測（1999年10月－2000年1月）*

Ground deformation monitoring on Iwate volcano by EDM and GPS between October 1999 and January 2000

地質調査所**

Geological Survey of Japan

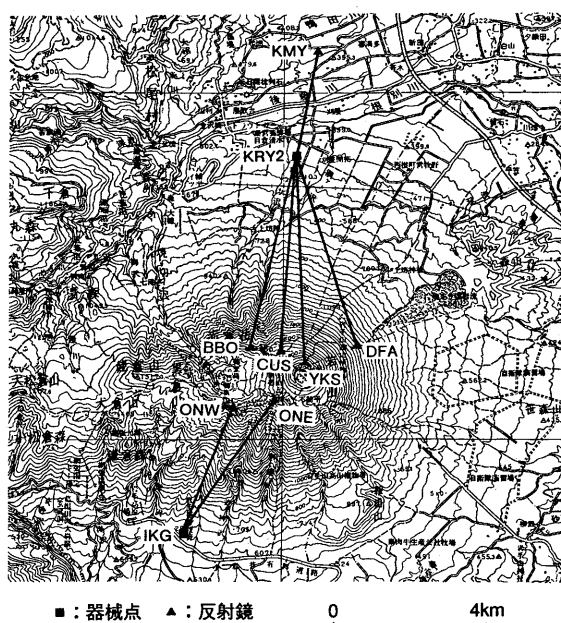
地質調査所では、1998年6月から岩手火山の山体変動観測を継続して実施している^{1) 2) 3) 4)}。光波測距観測網を第1図に、光波測距結果を第2図にそれぞれ示す。

光波測距は、山体の南側と北側に自動連続測距の器械を、山頂部、東中腹及び北山麓の計7点に反射鏡を設置して行った。北側の器械点 KRY 2 から山側の反射鏡 BBO、CUS、YKS、及び DFA 並びに反対の平野側の反射鏡 KMY 間の斜距離は、1998年10月から自動連続観測で測定した。南側の器械点 IKG では、観測点の機器を1999年5月に移動再設置し、反射鏡 ONW 及び ONE との間の斜距離の自動連続測定を再開した。第2図に明らかなように、器械点と山側の反射鏡点の間に少量の伸びの傾向が認められる測線もあるが、大きな変化は認められない。

GPS 自動連続観測は、岩手山山頂の薬師火口の南北火口壁に各1点、三石山をはさむ北西及び南東に各1点、参照点3点の計7点にGPSを設置して行っている。三石山南東及び参照点では連続したデータが得られた。地殻変動を示す大きな変化は認められない。岩手山山頂及び三石山北西の点では、装置の凍結のためデータが得られていない。

参 考 文 献

- 1) 地質調査所 (1999) : 岩手山の山体変動観測 (1998年6月－1998年10月), 噴火予知連会報, 72, 29-30.
- 2) 地質調査所 (1999) : 岩手山の山体変動観測 (1998年10月－1999年2月), 噴火予知連会報, 73, 25-26.
- 3) 地質調査所 (1999) : 岩手山の山体変動観測 (1999年2月－1999年5月), 噴火予知連会報, 74, 17-18.
- 4) 地質調査所 (2000) : 岩手山の山体変動観測 (1999年2月－1999年5月), 噴火予知連会報, 75, 42-44.

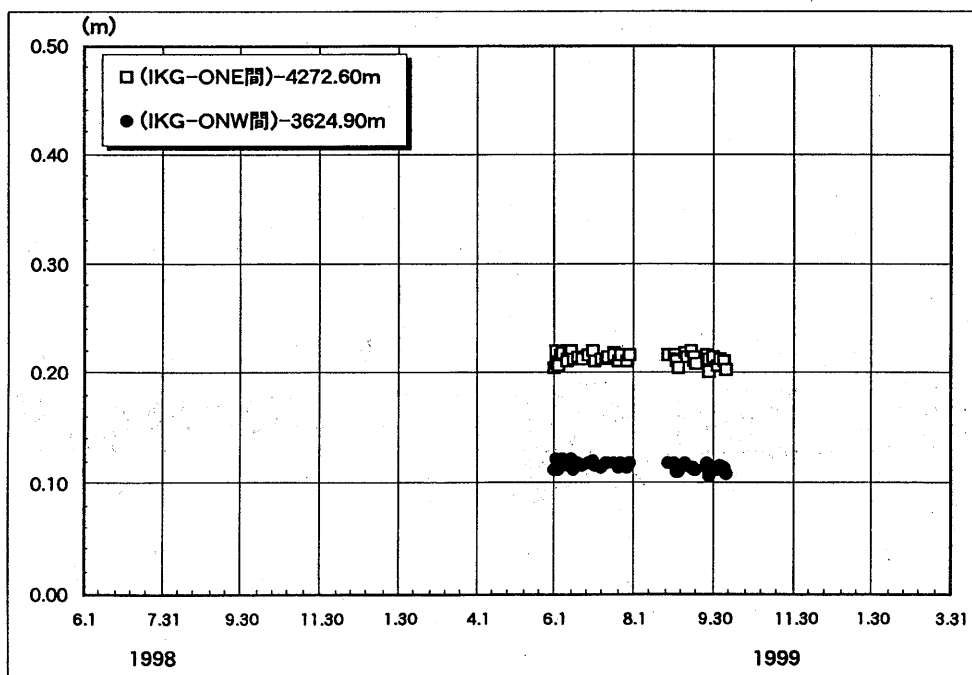
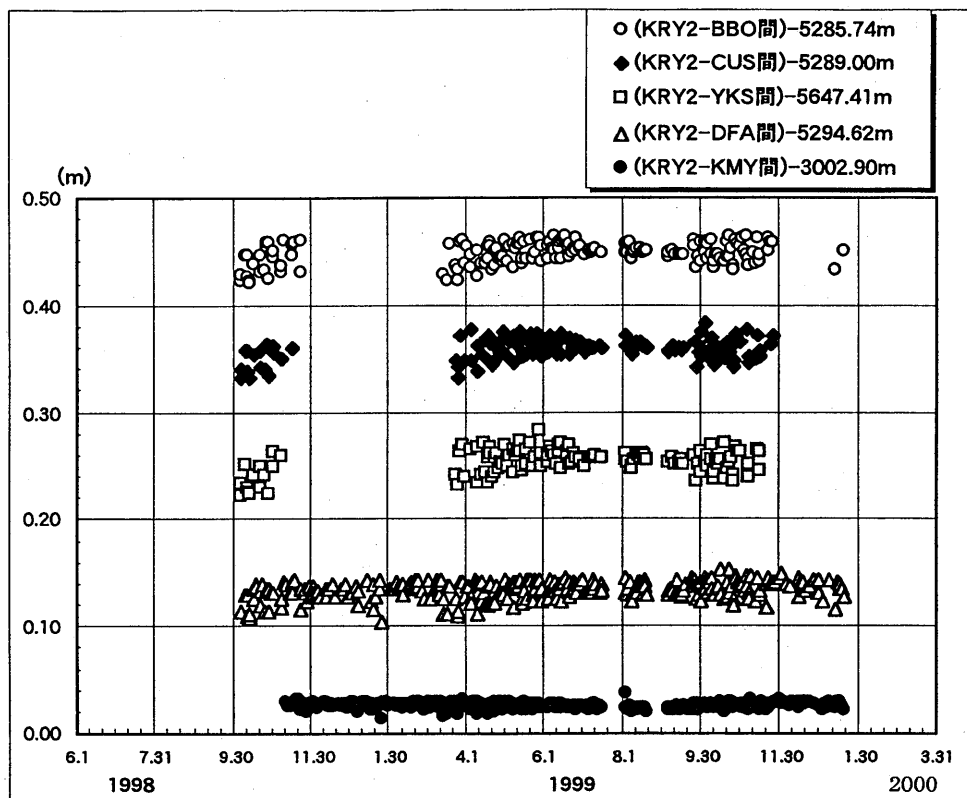


第1図 岩手山光波測距観測網

Fig. 1 EDM network on Iwate volcano. ONW, ONE, BBO, CUS, YKS, DFA and KMY: reflector target; IKG and KRY 2 : instrument station.

* Received 13 Apr., 2000

** 斎藤英二・渡辺和明・須藤茂
Eiji Saito, Kazuaki Watanabe and Shigeru Suto



第2図 岩手山光波測距結果
夕方データのみに示した。

Fig. 2 Change in slope distances on the north (upper) and the south (lower) of Iwate volcano. Selected data in the stable atmospheric condition in the evening are plotted.